



くっさー
くっさー
くっさー



スギ花粉症の薬

妊婦さんは注意!!

この時期、花粉症などで大変つらい思いをされている方も多いと思います。花粉によるアレルギー性鼻炎の場合、薬のみ始める時期は成分の働きによって違い、花粉が飛びそうな時季の2~4週間前からのむ薬、症状が出そうな直前1~2日前からのむ薬、症状に合わせてのむ薬、直接鼻に使う点鼻薬などがあります。

妊婦さんにも比較的安全とされている薬(成分:セチリジン塩酸塩、レボセチリジン塩酸塩、ロラタジン、クロモグリク酸ナトリウムなど)や、妊婦さんにはので欲しくない薬もあるので、妊娠を考えている方は、薬剤師に相談してみてください。



新しい薬

その他、スギ花粉症に対しては、それらとは異なる新しい薬が出ています。「減感作療法」(アレルゲン免疫療法)という治療法の薬で、スギ花粉のエキスを使用し、体を慣らすことでスギ花粉症の症状を徐々に弱めます。以前から、注射薬の減感作療法はあったのですが、新しい薬はのみ薬です。1日1回、ほんの少しずつ舌の下に薬を垂らし、2分間そのまま含み、その後のみ込み、30分ほど安静にする、ということを毎日繰り返すものです。注射のような痛みも無く、自宅ですべます。

最初は、専門の医師(ネットで「舌下免疫療法相談施設検索」と検索)にかかり、スギ花粉症かどうかの診断を受けます。また、注意事項をしっかり理解する必要があります。治療のスタートは、スギ花粉が飛んでいない時季からになります。この薬は12歳未満のお子さんには使用経験がないため使いません。また、65歳以上の方にも効果が出ない可能性があるので使いません。

この減感作療法によって、長期にわたり症状をおさえられる可能性があります。完全に症状がおさえられない場合でも、症状をやわらげ、薬の使用量を減らすことも期待できます。ただ、すべてのスギ花粉症の人に効果が期待できるわけではありません。また、治療は、長期間(3~5年)かかります。

なにはともあれ、アレルゲンとなる原因物質を体に寄せないようにするのが一番です。工夫してなんとかこの時季を乗り切りましょう。



薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会 検索